# 刊建設新聞

e Nikkan Kensetsu Shimbun

6月29日 土曜日
平成25年 第11746号

発行所
日本建設新聞社
千葉市中央区新田町5−10
電話043−203−8171(代)
FAX043−203−6658(代)



環境を考え新機種導入
東和道路株式会社
千葉市若葉区高品町1585-1
TEL 043-233-2271 FAX 043-233-1194
E-mail:touwadouro@mtf.biglobe.ne.jp
URL:http://www.touwadouro.co.jp/

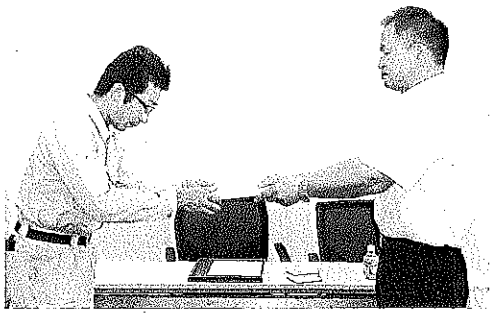

## 16工場に認定証

県コンクリート製品協同組合

### 技術懇談会 レベルアップし信用を

県コンクリート製品協同組合（花澤長文理事長）は27日、組合員企業の品質管理者、技術担当者を集め、技術懇談会を組合事務局のある千葉中央駅前ビル会議室で開催。参加した16人は、今年度の組合認定工場検査について総評を聴き、認定審査結果の報告を受けたあと、花澤理事長から認定証を交付された（写真）。

同組合の認定工場制度は、昭和62年から共同受注販売事業の一環として、製品の品質向上と均一化を目的に、各工場の技術委員が実地検査し、その内容を認定工場推進委員会で厳正に審査して、適格工場として認定している。



今年度の検査は、5月28日から約1ヵ月かけて実施。検査内容を厳正に審査した結果、県型側溝について16工場、同側溝ふたについて13工場、長尺U形について14工場を認定している。

はじめにあいさつした花澤理事長は、認定工場制度について「組合事業の中で、継続して取り組み成果を出している看板事業で非常に大事。レベルを維持し、少しでも上がるように、来年度以降も引き続き行っていくものだ。担当者の皆さんには頑張っていただき、他社には負けないという気持ちを持ってほしい。ひいてはそれが、組合の信用につながる」と重要性を説いた。

花澤理事長

引き続き行われた技術研修会では、「鉄筋コンクリートU形柵渠（B型）の設計計算書」をテーマに、千葉窯業㈱設計課の内野雅行課長が講演。参加者は実務的な説明に聴き入り、設計計算書ソフトの配布も受けていた。

25年度の認定工場は次の通り。

【エコセメント製品】
〈県型側溝・県型側溝ふた・長尺U形〉
▽花沢建材工業（山武市）▽千葉窯業（横芝光町）▽三滝コンクリート工業（南房総市）▽千葉コンクリート（いすみ市）▽平野コンクリート工業（市原市）▽小川建材工業（匝瑳市）▽テラコン（富里市）▽日新コンクリート工業（山武市）▽林建材（横芝光町）▽共栄建材工業（茨城県坂東市）
〈県型側溝・長尺U形〉
▽シティー・クリエイティブ・コンクリート（横芝光町）
〈県型側溝〉
▽小泉建材興業（茨城県常総市）

【ポルトランドセメント等製品】
〈県型側溝・県型側溝ふた・長尺U形〉
▽三洋コンクリート工業（九十九里町）▽ヤスミ建材（君津市）▽花澤工業所（山武市）
〈県型側溝〉
▽時田コンクリート工業（市川市）

## の今後など語る 3氏招き講演会

県農業土木コンサル協議会

県営水道との施設整水準など）、両企業団の員の身分等の課題については、経営統合前の協議により、合意形成を図っていく見通しだ。

境状と課題についての演会を開いた。当日は術の研鑽（けんさん）な回となる今年度の通常総会が開かれ、中村会長のあいさつに続く議事では、

中村会長

された。

続く講演会ではまず、農水省関東農政局で整備部長などを歴任した公益社団法人土地改良測量設計技術協会（土測協）の宮元均専務理事が登壇。「農業農村整備の今後…か、農業所得や食料自給率の問題、TPPなどについても分かりやすく解説した。

このほか、県農林水産部耕地課の山本泰三課長が「千葉県農業農村整備の新たな方向性について〜組織の現状と課題に、どのように取り組むか」について本県の農業施策などを説明。また、関東農政局整備部防災課の馬籠剛一課長は

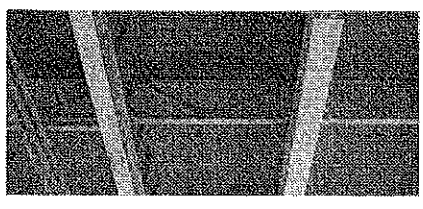
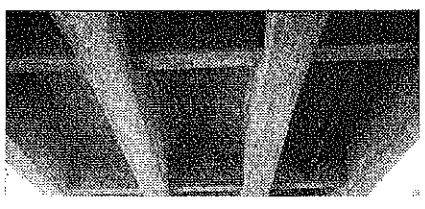
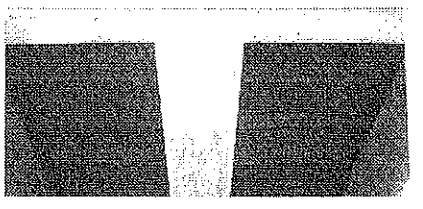
土測協の宮元専務理事らが講演

推進・技術士、技術士補、RCCM、農業水利施設機能総合診断士

▽一般社団法人第4回総会と記念講演会（6月26日）

▽ホームページ維持更新、行事ごとの広報誌の発刊、情報発

計検査〜」をテーマに、一信を積極的に行う、など


橋梁を長寿命化する 「スーパーホゼン式工法」